

第2回「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

奈良県立医科大学東洋医学研究会

漢方古方派に沿って発表する



医学科5年 朝井啓斗

畔上功太郎

大谷英伸

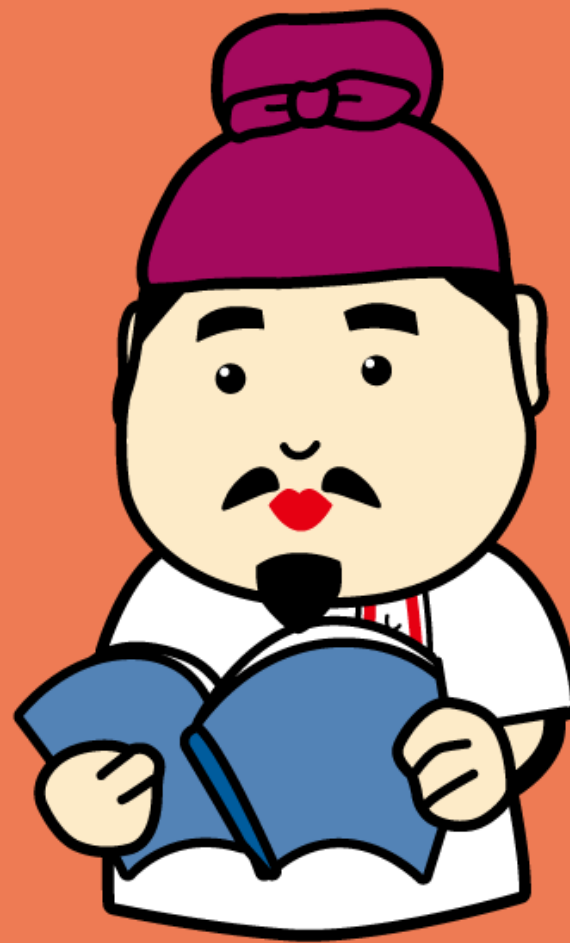
北野和希

的場翔太郎

山口晃一

目次

1. 四診
2. 方証相對
3. 西洋医学的所見から
4. 方劑、生活指導
5. まとめ
6. おまけ
7. 参考文献



1. 四診

望診

体重:7 kg、顔色悪くない

皮膚:両頬に一部鱗屑と痤瘡様の丘疹を伴う軽度の紅斑

頭皮に軽い落屑と紅斑

腰、下腿、臀部に紅色膨隆疹

舌診:口腔内全体とともにやや乾、薄い白苔

聞診

ぐずりが少しある、咳(湿性乾性は不明)



1. 四診

問診

生後 1 ヶ月前後より顔と頭皮の慢性湿疹で近医に通院し、
ヒドロコルチゾン酪酸エステル外用屯用で軽快と悪化を繰り返している。

来院8日前：発熱(38.5℃)と透明な鼻水、鼻閉

6日前：近医受診し、インフルエンザ(-)、新型コロナウイルス(-)、感冒と診断された

5日前：37.5から38℃の微熱と透明な鼻水、鼻閉は繰り返した

2日前：たまに少量の嘔吐を起こし、軽い咳や全身そこかしこの紅色膨隆疹
食欲やや低下、尿量も少し減っているかもしれない、下痢なし

1日前：RAST異常なし、卵白、牛乳、小麦、ピーナッツ、えび、さけ、リンゴ、イクラ(-)

当日：蕁麻疹などがよくなり、不安になって当院受診



切診

腹診：軟、上腹部は抑えると嫌がる。(泣くほどではない。)、全身の薄っすらとした汗の湿り

脈診：なし

2. 方証相対



八綱分類

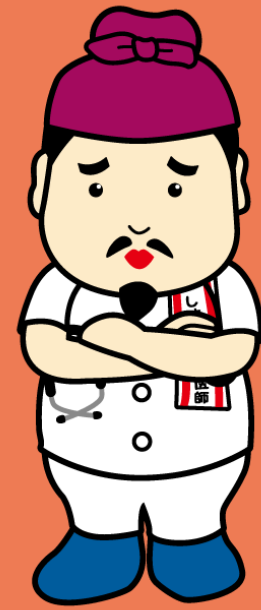
陰陽：胸脇苦満、高体温、舌苔を含む口腔内の乾燥→やや陽

表裏：透明な鼻水、鼻閉、嘔吐、食欲不振→半表半裏

寒熱：舌苔を含む口腔内の乾燥、尿量減少→やや熱証

虚実：腹証で軟(乳児としては正常)、病邪に対する抵抗あり、筋緊張良好
→やや実

2. 方証相対



六病位

胸脇苦満、嘔気、尿量減少、食欲不振、
舌診で薄い白苔、全身の薄っすらとした汗の湿り(発汗傾向)



少陽病

2. 方証相対

腹証

①腹診で上腹部を抑えると嫌がる。(泣くほどではない)



胸脇苦満



柴胡剤の適応

②腹診で腹力軟(乳児としては正常)



中間証



2. 方証相対

気：特異的症候所見特になし

血：顔色悪くない→特異的症候所見特になし

水：舌診で口腔内全体とともにやや乾、薄い白苔
たまに少量の嘔吐があり、尿量減少の可能性あり



水滯



3. 西洋医学的所見から

【発熱に関する鑑別疾患】

髄膜炎
敗血症
川崎病
白血病
尿路感染症
中耳炎
インフルエンザ
COVID-19



【必要な検査項目】

血液検査
尿検査
髄膜刺激症状、大泉門膨隆
身体所見(鼓膜、肺音、心音、眼球結膜、舌)
感染症迅速検査



血液検査: WBC: 10500/ μ L、CRP: 0.19 mg/dL 尿沈査: 白血球(1-4 個未満/HPF)、細菌(-)
大泉門: 膨隆なし、髄膜刺激徴候なし、肺聴診: 清、両鼓膜: 清、咽頭扁桃: やや発赤
インフルエンザ(-)、COVID-19(-)、眼球結膜に異常所見なし

3. 西洋医学的所見から

【皮膚症状を含む発熱の鑑別疾患】

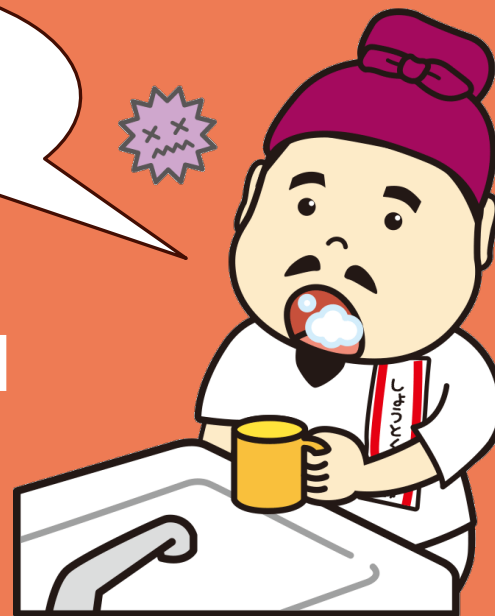
手足口病
麻疹
水痘
風疹
伝染性紅斑
突発性発疹
伝染性膿痂疹
溶連菌感染症



【必要な検査項目】

血液検査
尿検査
熱型分類
身体所見(コプリック斑、眼球結膜、
皮疹の分布や性状、咽頭扁桃)
シックコンタクト

感染症が
多いね…



血液検査:WBC:10500/ μ L、CRP:0.19 mg/dL 尿沈査:白血球(1-4 個未満/HPF)、細菌(-)
大泉門:膨隆なし、髄膜刺激徴候なし、肺聴診:清、両鼓膜:清、咽頭扁桃:やや発赤
インフルエンザ(-)、COVID-19(-)、眼球結膜に異常所見なし、RAST異常なし

3. 西洋医学的所見から

感染症が多いね…

【皮膚症状を含む発熱の鑑別疾患】

手足口病

麻疹

水痘

風疹

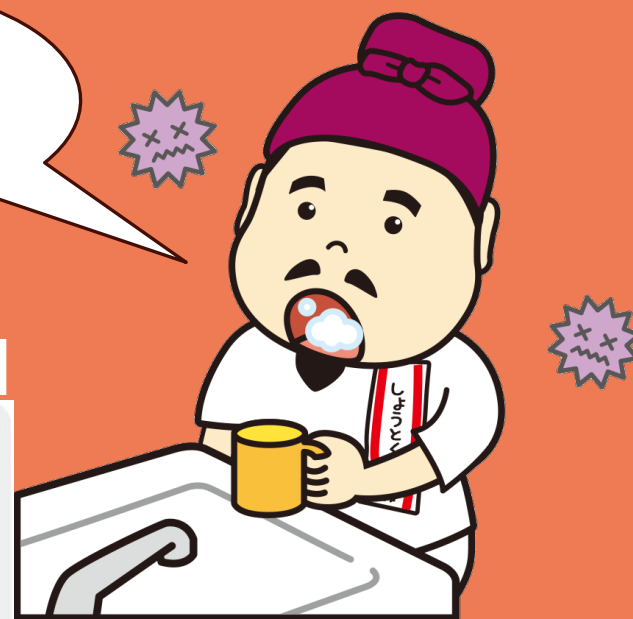
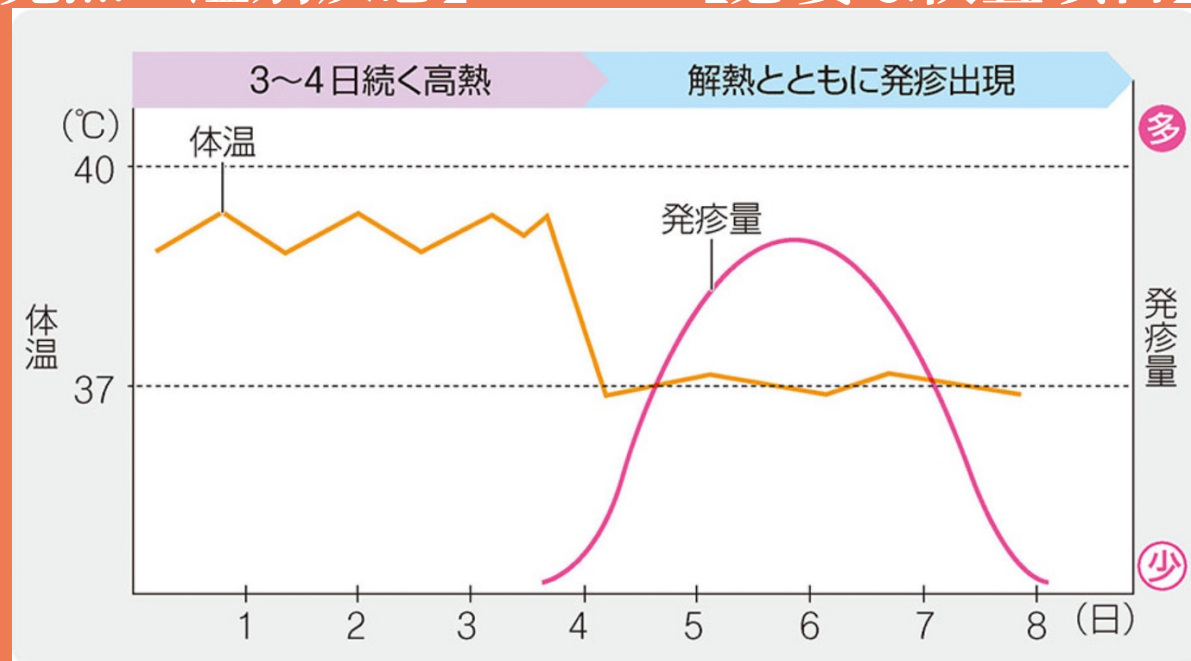
伝染性紅斑

突発性発疹

伝染性膿痂疹

溶連菌感染症

【必要な検査項目】



斑、眼球結膜、
分布や性状、咽頭扁桃)

血液検査: WBC: 10500/ μ L、CRP: 0.19 mg/dL 尿沈査: 白血球(1-4 個未満/HPF)、細菌(-)
大泉門: 膨隆なし、髄膜刺激徴候なし、肺聴診: 清、両鼓膜: 清、咽頭扁桃: やや発赤
インフルエンザ(-)、COVID-19(-)、眼球結膜に異常所見なし、RAST異常なし

4. 方剤、生活指導

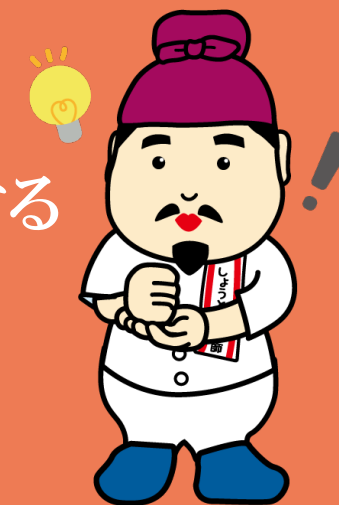
十味敗毒湯



十味敗毒湯：1日0.7-1.4gを3回に分割し、授乳のタイミングで経口投与する

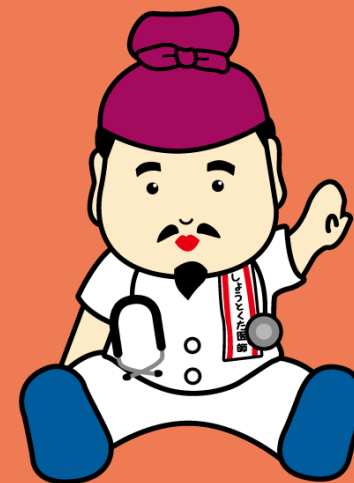
乳児の飲み方

- ①白湯に溶いてスプーンで飲ませるまたは頬や上顎の内側に塗布する
- ②服薬補助ゼリーを使用する
- ③1回で服用できないときは複数回に分けて飲んでもらう
- ④効果がみられない場合には再度飲んでもらう
- ⑤飲んだ後30分は経過観察し、副作用の出現を確認する



4. 方剤、生活指導

十味敗毒湯



荊防敗毒散を基本として江戸時代の医家華岡青洲が創製
十種類の構成生薬からなることから十味という
皮膚における化膿等の毒を敗退させるという意味で敗毒と表現したものである

ようかほうせん よう はれもの
『瘍科方笈』「癰・疽および諸々の瘡腫で、悪寒・発熱・疼痛するものを治す」

腹証：中等度かつ胸脇苦満

六病位：少陽病

舌診：乾燥傾向の白苔

4. 方剤、生活指導

紫雲膏

江戸時代の医家である華岡青洲の創製によるもの
主薬である紫根の「紫」と創製者の幼名である雲平の「雲」を用いている
本軟膏を塗布した皮膚表面が紫色になることから、
これを紫雲（古来中国で、盛徳の君子のいる所にたなびくとされた雲）になぞらえた
適量を直接患部に塗布またはガーゼにのばして貼付する

証

本方は、外傷および皮膚疾患に用いる代表的な外用薬である
一般的な外傷・疾患のほか、皮膚の発赤、乾燥、粗糙、肥厚、角化、潰瘍、びらんを
目標とし、化膿が顕著でなく、分泌物の少ないものに用いる

組成

ごま油・紫根・当帰

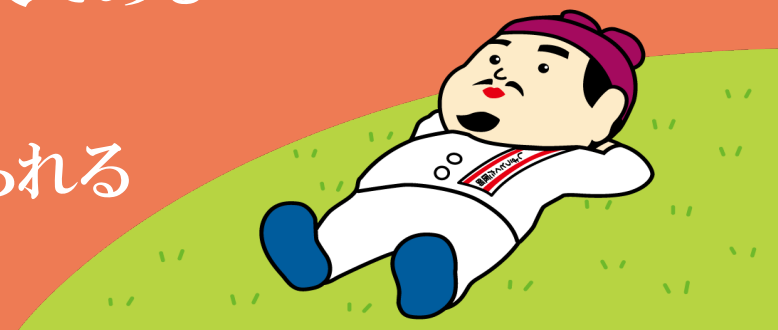
授乳している
お母さんの
乳頭の傷にも
使えるよ！



赤ちゃんが
口に入れても
大丈夫！

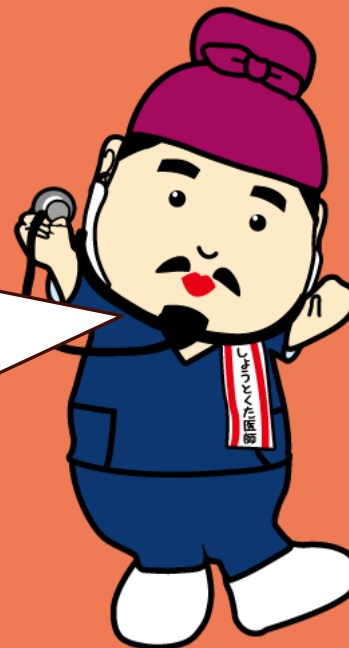
5. まとめ

1. 現代医学的診断は突発性発疹とし、皮膚症状をとりあげて 方証相対により鑑別した
2. 本症例の八綱分類はやや陽・半表半裏・やや熱証・やや実である
3. 本症例の六病位は少陽病である
4. 胸脇苦満を呈しており、柴胡剤の使用適応であると考えられる
5. 瘍科方笈によれば、十味敗毒湯は
ようかほうせん
「癰・疽および諸々の瘡腫で、悪寒・発熱・疼痛するものを治す」とある
よう はれもの
6. 紫雲膏は華岡青洲が創製した外傷および皮膚疾患に用いる代表的な外用薬である
7. 本症例は発育・体力中等度の乳児である
8. 以上より、十味敗毒湯を1日0.7-1.4g分3で処方することとした
9. 服薬による薬剤アレルギーや熱性けいれんがみられた場合には再受診を指示した



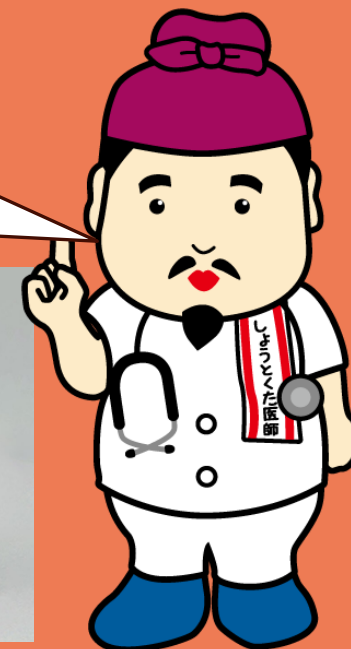
6. おまけ

華岡青洲先生が
診察をした
春林軒は
和歌山県に
あるよ♪



奈良医大

紫雲膏の原料である紫根
は冠位十二階の色(大徳・
小徳)なんだね！！



紫根



7. 参考文献

1. 広い応用をめざした漢方製剤の活用法 活用自在の処方解説, 秋葉 哲生
2. 病気がみえる vol.15 小児科, 医療情報科学研究所 編集
3. 年齢・体重ですぐわかる! 小児の治療薬の選び方と使い方, 監修 水谷修紀, 羊土社
4. 基本がわかる漢方医学講義, 日本漢方医学教育協議会, 羊土社
5. 症例から学ぶ和漢診療学 第3版, 寺澤捷年, 医学書院
6. 改訂第3版 生薬単 ~語源から覚える植物学・生薬学名単語集~,
伊藤美千穂・北山隆 監修, 丸善雄松堂
3. ツムラメディカルサイト
4. 山本巖の漢方 症例&144処方 臨床解説 適応病態/適応疾患,
原著 福富稔明 増補改訂 山方勇次, メディカルユーコン
9. 絵でわかる漢方医学, 入江祥史, 講談社
10. 漢方製剤 活用の手引き -証の把握と処方鑑別のために-,
長谷川弥人・大塚恭男・山田光胤・菊谷豊彦 編集
11. よくあるご質問「紫雲膏」を授乳婦の乳頭の傷に使用してもよいですか。 , クラシエ

